

書籍発刊のご紹介

正会員 専修大学名誉教授 魚田 勝臣

情報システム学会は2014年に発刊した「新情報システム学序説—人間中心の情報システムを目指して!—」にかわり、本年2023年4月に「情報システム学」を電子出版することになり、時代の節目を感じます。この機会に、故浦昭二博士の科研費報告「情報システムの教育体系の確立に関する総合的研究」に基づき、1998年2月に初版刊行し、情報社会と当学会の情報システム研究の進展に追隨して四半世紀にわたり改訂を持続してきた教科書と教授用教材について、メルマガ誌を借りて経過報告させていただきます。

1. 大学初年次用情報教育教科書「コンピュータ概論:情報システム入門」2023年3月15日第9版1刷を発行しました。

当学会が標榜する、「社会の仕組みを情報システムと捉える」人間中心の考えに基づき、急速に進展する日本社会を反映させ、2023年年初までの内容を含みます。特に、現時点での社会や技術を知るだけで無く、その依って来たところ（歴史）を学ぶことの重要性を説いています。

2色刷 B5判 全263頁に増補（初期版の約1.3倍）しているものの、教科書使命に鑑み価格(2,800円+税)を維持しています。

2. 著者教員が日頃授業で使用している教材を、本書を利用して授業を進める教員（利用教員）に無料で頒布できるようにしています。

教材には、スライド教材・ビデオ教材・章末問題解答例を含みます。ビデオ等一部の例外を除き、取捨選択・改変、授業等での呈示可能としています。スライド教材はPowerPoint形式で全676葉 平均75葉/章 フルカラーです。

教科書から図や表などを抽出し、スライド教材を作るのは骨の折れる仕事です。その素材を提供しますので、下敷きにして教員独自の授業を組み立てることができます。

コロナ禍の下で、オンライン授業実施に威力を発揮したと考えています。

3. 利用教員意見を反映するとともに、謝辞ページを設け氏名と大学名を掲載しています。

4. 締めくくるに当たり、時代遅れが激しい日本の大学教科書について触れます。

少なくとも高校までの教科書は日本でもフルカラーB5判程度の寸法なのに、大学教科書はA5版モノクロのものが散見されます。

米国のコンピュータや情報システムテキストは30年前でさえフルカラー、ある時代からマルチメディア指向です。

「情報システム学」刊行を契機に、当学会で「教育研究会」を再構成して教育改革を進めることを希望します。

以上